

ASPaC Awards 2019

日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション

説明会 & ワークショップについて

森 旬 子

はじめに

【アジア】×【学生】×【デザイン】が生み出す未来アスパックは、“アジアの未来を創る若者を育てる”国際交流事業で、独立行政法人 国際交流基金、一般社団法人 アスパック協会、そして公益社団法人 日本パッケージデザイン協会が一体となって推進し、参加する各国・地域の公的機関・デザイン業界・企業・教育界が支援している。日本やアジアの学生の国際交流と”未来へ羽ばたく力や未来を拓く力”の育成を目的としている。その活動のひとつであるアスパックアワードは、学生を対象とするパッケージデザインのコンペティションで、優秀な作品は日本含め参加国・地域の巡回展で公開される。若者の潜在的能力を発見し、世界へ発信することを目的としたコンペティションである (<http://aspac.jp/>による)。

ワークショップの内容

このような国際的なコンペティションの理解と参加を目的として、説明会およびワークショップを企画した。ワークショップの講師としては、藤田 隆氏（元成安造形大学教授、元サントリーデザイン部クリエイティブディレクター）を招聘した。

開催日：2019 年 6 月 8 日

開催場所：芸術工学棟 1 階 M101、102

活動形式：コンペティション説明会、ワークショップ

参加人数：16 名（他大学生 1 名含む）

過去の受賞作品の紹介とその評価についての解説を行った。その後、与えられたテーマ（娯楽、食、スポーツ、住、環境）を基にグループでディスカッションを行い、グループごとにさら

グループでまとめた結果を模造紙に記し、一人 10 分程度でプレゼンテーションを行った。

おわりに

2019 年の応募期間は 6/3～7/12 で、この期間に必要な事項を web より記入し、ラフスケッチを添付することでエントリーする形式であった。本学からのコンペティション応募学生数は 7 名で、応募作品総数は 25 点、うち一次審査通過人は 4 名、作品数は 16 点、国内決勝まで進み、入選 1 名（1 点）、佳作 2 名（2 点）であった。



開催当日のワークショップの様子